

1985年(昭和60年)、帯広市に生まれ、5歳の時にオホーツクの美幌町へ移り住みました。小・中学校時代は、豊かな自然に囲まれ、のびのびと育ちました。その後、北見の高校へ進学。当時は特に将来の夢もなかったため、「近場で行ける大学」というなんとも言えない理由で北見工業大学に進学しました。

ゼミの教授のご縁で釧路市に本社を置く太平洋総合コンサルタント株式会社を知り、大学卒業後2008年(平成20年)に入社。上司や先輩方の叱咤激励を受けながら業務に励む一方、業務の合間を縫って挑戦し続けた技術士試験に、2018年(平成30年)に念願の合格を果たしました。合格番号を確認した瞬間、思わずガッツポーズと「ヨシッ」という声が出たあの感覚は、今でも鮮明に覚えています。

やっとのことで技術者としてのスタートラインに立ってから早7年。現在は主に橋梁、トンネル、附属物等の点検・補修設計業務に従事し、立場も「THE 中堅」となりました。最近は若手社員も増え、後進の指導にあたることも多くなっています。日々育成や指導に頭を悩ませると共に、業務では、急速に進化するICTやAI技術の活用についても格闘しているところです。

休日とはいうと、小学生の息子と娘のサッカー観戦がなによりの楽しみです。子どもたちの一生懸命な姿はとても眩しく、前回できなかったことを次はできるようになっている姿には、毎回感動させられます。そんな彼等の成長を見守る中で、自分自身もまた常に成長し続ける向上心を忘れず、「初心忘るべからず」の心を胸に、今後も精進していく所存です。

## 黒澤 亘(くろさわ わたる)

●建設部門(鋼構造及びコンクリート)

### 勤務先

太平洋総合コンサルタント  
株式会社



⇒次号は、釣谷竜一さん(建設部門)

私が、このような場で執筆するのは相応しいのか、もっとフレッシュな経験をお持ちの方が良いのではないかと、私自身の中でも葛藤は有りましたが、経験を伝えてゆくのがこれからの私の使命ではないのかと思い直して執筆することと致しました。私は、2016年(平成28年)に建設部門、翌2017年(平成29年)に森林部門の技術士資格を取得しました。北海道庁の土木職員だったころ

から受験していたのですが、合格したのは、現在の会社に入ってからです。技術士資格に対する考え方を変えたことで合格出来ました。それまでは、現在の自分の技術的レベルが技術士に相応しいレベルに達していないから合格しないのだと考えており、合格のための勉強は特にしておりませんでした。ですが、現在の会社に貢献するためにも何としても合格しようと思い、試験のための勉強を始めたのでした。そして、合格したので。勉強は、過去問題を解いてゆくのもそうですが、とにかく、国土交通白書、森林・林業白書を読みました。役人時代は、黙って座っているだけで、国の施策等、現在国が考えていることは、毎日情報として入ってきますが、民間会社ではそうは行きません。自ら情報を取りに行かねばなりません。ですから、白書は重要な情報源です。それから、業界紙も役に立ちました。

さて、私はこれまで主に有珠山、十勝岳という火山地帯の砂防関係事業に携わってきました。'90～'93年には、南米ヴェネズエラで技術協力の仕事もさせて貰いました。会社では、林道橋梁の点検診断業務で地すべり運動による損傷を指摘したりしています。これからも、嫌われない程度に、これまでに培ったものを後輩達に伝えてゆきたいと思っています。

## 沼田 寛(ぬまた ひろし)

●建設部門／森林部門

### 勤務先

株式会社ノース技研 札幌支店



⇒次号は、坂下正幸さん(建設部門／総監)